



野網 義一 議員

## 福祉施策の充実を

独居老人や身障者等の緊急通報システムが平成16年の112台をピークに72台に減少している。高齢化が進み必要としている人は増加しているのになぜか。

町長

グループホーム等の施設が整備されたり、携帯で簡単に近くに住む親族に連絡できるようになり減少。今後とも安心して生活できるよう緊急システム等の適宜設置をしていきたい。

介護離職や介護転職で収入が大幅に減って生活が厳しくても生活保護がなかなか受けられない。そうした人たちへの自立支援・就労支援策は。

町長

生活保護を受けたいという相談が非常に増えている。最近30代40代の生活困窮者も増えており、就労支援が必要となっている。

国民健康保険が平成30年度から県1本になる。県では標準保険料率を町ごとに決め、町が集めることになる。町は国保税の算定に資産割を入れているが、二重課税との批判もあり廃止できないか。

町長

県内で資産割を廃止したのは7市町。収入がなくても資産があれば加算されるので負担が大変。すぐには出来ないが数年かけて対応を考えたい。

在宅で介護を受ける歩行困難な人のゴミ処理でヘルパーさんが困っている。分別をしても物によって回収日や場所が違うため、シルバーやライフサポートに頼んでも非常に高つく。

町長

池田環境保全と連携して、粗大ごみも含めシステムを構築し解決したい。

## 片山北地区で集中して獣害対策を

片山北地区でも鳥獣害対策用の柵を設けているが、県道や山頂道路・谷があり十分に柵の効果が得られない。依然として鳥獣害が多くみられる。集中的に駆除してほしい。

町長

今年是有害鳥獣捕獲隊員を1名増の8人、組み立て式囲い罠を3基購入し対策を強化する。

平成26年度駆除実績(イノシシ・シカ)(頭)

	八幡地区	西地区	宮地地区	計
イノシシ	28	1	21	50
ニホンジカ	33	92	67	192

平成27年度駆除実績9月7日現在(頭)

イノシシ	13
ニホンジカ	44
ヌートリア	24
ハクビシン	10
カラスの卵	5

※町に届出のあった頭数



購入予定の組み立て式囲い罠

## 不安いっぱいマイナンバーを強制するな

国はマイナンバーを税や社会保障、災害対策に限定して使うとっているが、すでに、預貯金の通帳にまで対象を広げ、さらに利用を拡大しようとしている。町民は個人情報漏れないか大変心配している。不安を抱いている人まで使用を強制しないでほしい。

町長

国で法律が通って自治体としては従わなければならない。目的以外に利用したり、個人情報漏れないよう管理や取扱いに万全を期す。ナンバーがなくても今まで通り免許証や本人確認できる書類で手続きできる。